久々子湖のシジミ に関する調査

先月号では、久々子湖におけるシジミの生息環境について、福井県 立大学の研究調査結果をお知らせしました。

今月号は、同大学が行っているシジミの成長に関する調査について お知らせします。

> 時期が分かります。 定期的に測ることで、

また、

月1回、

個体識別調査(※)を行って

・ます。

調査では、

シジミの殻の大きさを

成長の速度や

②シジミの生息環境の調査

・産卵の調査

現在、

久々子湖浅場造成場にお

シジミをカゴに入れて飼育し、

①久々子湖シジミの成長速度、

成熟

<u>environment</u>

副学長青岩

副学長青海忠久先生の平のなぎさ部会)では、福

福井県立

大学

研究室と連携

平成26年度に次の調査を実施し

三方五湖自然再生協議会(シジミ

シジミのカゴ飼育による

調査の実施

似た傾向をしてい

、 る。

しかし、

産卵期になると増加す

る

タを再検討中

で

シジミの産地である東郷池等とよく

行ったシジミを10個イズの個体識別を を3つずつ、 体ずつ収容したカゴ ※)大(15㎜)・中(10



m) の3サ

の測定をしています。 から生育環境(水温・塩分・溶存酸素) カモによる食害についても同 カゴに設置した塩分水温計 遊覧船による波の 同じ場

影響、

所での潮位変動、

時に調査しています

関して次のことが明らかになりま 調査の結果から、 シジミの成長に

③水深80mよりも50mの方が初期成②12月から3月に成長は停滞する。 この成長の傾向について、 長に優れたが、 か、その後は同様に成りも50㎝の方が初期成 青海先

久々子湖のシジミに見られる

先生にお話を伺います

に御尽力をい

ただいて

いる青海忠久のシジミの調査

久々子湖の

※お問い合わせ先

町住民環境課 (担当

上野) 67

232

о 3

「成長過程は鳥取県

グラウン 町民野球場 ↑カゴ飼育調査の実施場所 あるが、 いる。 ことで、 りませんが、 とのことです。 の産卵特性があるの は他地域とその変化傾向が異なって 身の充実度(以下「実入り度」とする) いについては、 現在調査デー 久々子湖のシジミには特.

総合体育館

期待されます。 の実態が明らかになってくることが シジミの実入り度の変化傾向 久々子湖の 今後の調査研究が進む 現段階ではまだ分 シジミの再生産 か もし 分か違

政務官に要請書を提出

発電所の状況 美浜1号機 |運転終了(平成27年4月27日) 4日までの美浜発電所の 運転終了(平成27年4月27日) 美浜3号機 第25回定期検査中(平成23年5月14日~

が責任を持つこと。 安全規制・プラント審査について

図ること。

の被災者救済は、

等を明確に示すこと。

原子力・エネルギ

教育の充実を

全性の判断や長期保守管理の方針

プラントを稼働させる必要性・安

運転開始後30年を超える高経年化

等を強力に進めること。

使用済燃料を早期に敷地外に搬出

できるように中間貯蔵施設の

整備

組みを加速させること。

について、

早期解決に向けた取り

使用済燃料の処理・処分等の問題

イクル政策を着実に進めること。

スの方針を早期に示

核燃料サ

原子力発電所の新増設・リプ

V

民に丁寧に説明すること。

原子力規制委員会は、 育成し、審査の効率化を図ること。 力規制委員会は、人材を増強 高経年化プ

や内閣府等の関係機関に要請活動を 電所所在市町協議会で、 及び議長で構成する福井県原子発電所が立地する県内4市町の 原子力政策の着実な推進等を国に要請 8月19日と20日 0) 2日間、 で、経済産業省 畑井県原子力発 内4市町の首長 原子

限切れによる廃炉・ラントの運転延長家 迅速に審査 を進めること。

事務所の 力規制委員会は、 人員や機能、 役割を強化 原子力規制 原子

原子力防災対策について

積極的に支援すること。 県境を越える広域避難につい

きる体制を構築すること。 広域避難に いて、 迅速に避難で

立地自治体

0

産業構造

の多様化

 \sim

の新たな制度を創設すること。

安定ヨウ素剤事前配布後の更新に 性のある仕組みとすること。

緊急時モニタリング結果につ 新手続きの簡略化を図ること。 1) 更

修を、 する財政支援を行うこと。 自治体が行う災害対策事業等に対 時集合施設への耐震補強等

金の交付対象とすること。 力災害対策事業費補助設への耐震補強等の改

による廃炉とならないようの運転延長審査について期

規制委員会は、敷地内破砕帯 やすく説明すること。 原子 力発電

すること。

安定ヨウ素剤の配布・服用 が実効

係る自治体の負担軽減のため

つ確実に情報提供を行うこと。 避難対象自治体に対し迅速か

故制圧等

7

の体制を充実強化する原子力規制委員会は、 体制を充実強化すること。

【要請内容】 行いました

エネルギ

(原子力)政策について

原子力発電の

重要性・必要性等を

視を行うこと。
所の廃炉について厳格な指導、 民に分かりやすく説明するこ評価を科学的・技術的に審査 原子力規制委員会は、

立地自治体の経済

振興等

段の

へ間

ح

までを交付対

象期

0)

体撤去完了 電源三法交付金を原子 を継続すること。

廃炉に伴う立地地域経済 や雇用確保の施策を講じること。 を緩和するため、 の財政支援を行うこと。新たな制度を創設するなど、 地域経済への影響を

振興

影

響

地支援事 こと。 業の充実を図ること。電施設等周辺地域企業 地域企業立

料に係る交付金の格差是正を図る敷地内外で貯蔵している使用済燃

で課税期間を延長すること いて、 力発電所等に係る固定資産税 施設の解体撤去完了ま

につ 原子

でいきます。電に係る課題や問題等に取 間の連携を図 町では、 今後も当協議会の な がら、 原子 ŋ 会 組 力 ん発員

↑福山守環境大臣政務官兼内閣府大臣

立地地域対策についや体制の強化を図

の強化を図ること。

電源三法交付金の

みなし措置

0)

滴

平成 28 年春

第1期分譲開始

山上地区に整備する住宅分譲地の名称を募集します!

町では、将来の美浜町を担う若者や子育て世代 の定住・移住を促進するため、美浜町山上地区に おいて 58 区画の住宅分譲地の整備を進めていま す。

本住宅分譲地を広く PR していくために、住宅 分譲地の名称を募集します。

●応募規定

- ・分譲地に定住する人や町民から愛され、親しま れる、「美浜」らしさのある名称とします。
- · 「漢字 | 「ひらがな | 「カタカナ | は使用可(併 用も可)、英語表記は不可とします。
- ※採用作品は、今後住宅分譲地の名称として広 く使用されます。

●応募方法

『官製はがき』、『FAX』、『メール』のいずれかで、 「名称(ふりがな)」、「名称の由来」、「郵便番号」、 「住所」、「氏名(ふりがな)」、「電話番号」、「年齢」 を明記し、応募してください。(一人3口まで応 募可能)

●選考

締め切り後、選考委員会で決定し、採用された方 には通知するとともに町広報紙等にて掲載しま す。

● 応募先

〒 919-1192 美浜町郷市 25-25

美浜創生,人口減少対策室「住宅分譲地 名称募集係」 < FAX > 32 - 1115

<メール> sousei@town.fukui-mihama.lg.jp



●賞品

①採用された方(1人)には、副賞として、図書カー ド2万円分と美浜名産の「鯖のへしこ」1本を進呈 します。

※該当者複数の場合は抽選とさせていただきます。 ②応募者の中から抽選で10人に図書カード1.000 円分を進呈します。

● 募集期間

平成 27 年 10 月 1 日 (木)~

平成 27 年 10 月 30 日 (金)

※『官製はがき』は締切日の消印有効とします。 ※『FAX』『メール』は、送信日時の日付が締切 日までのものを有効とします。

● 著作権

応募作品の諸権利は、美浜町に帰属します。

※お問い合わせ先 町美浜創生・人口減少対策室(担当・西野) ☎32-6715

平成27年度美浜町防災訓練(北地区)を実施します

町では、土砂災害に備えた防災訓練を行います。地域での防災力を高め、災害に負けないまちづくりを推 進するため、皆さんのご協力をお願いします。

10月4日(日) 午前7時~10時30分

訓練会場 北地区公民館

対象地区 北地区(早瀬、笹田、日向)

- ※当日は、防災行政無線や音声告知放送、緊急エリアメール(町内全域)及び登 録メール等で、避難勧告等のお知らせをします。
- ※午前9時10分頃に、北地区公民館上空で防災へリによる救出訓練を行いま す。騒音等でご迷惑をお掛けしますがご理解とご協力をお願いします。



↑土のう設営訓練

町総務課 防災安全室(担当·川尻) ☎32-6700 ※お問い合わせ先

Mihama Information

◆「みんなでもちつき ○さくらんぼひろば

10月の子育て支援センタ

催しをお知らせします育て支援センターの

◆「冬場の感染予防につ

61

秋の地域運転

者講習会か

開催されます

日

時

月

4 日

水

※ 町

内の方が優先となります

電話、

、または子育て支援センター14日 (水)~11月2日(阝)

でも参加できます。

で直接申し込みください

きます。

自動車を運転される方はぜ

記までお問い合わせください。

ひ受講してください

は、

他の会場でも受講することが

元会場で受講

が

で

きな

場

国民年金保険料[5年の後納制度]開始

10 申

14

し込み 月

話を聞きます。 とその予防方法に 冬場に流行しやすい

対

象

在宅児とその保護者

会

場

町子育て支援センタ

2 部

H

日 (水)

内

容

講

舖

武田

葉子

氏

(薬剤師

10 10 10 10 月 月 月 月 月 日 日程・会場

口(未) 美浜西小学校口(未) 美浜東小学校

ついてお

火

北地区公民館

時間

各会場とも

午後7時

8

時30分

成27年10月1日から、過去5年以内に納め忘れた国民

年金保険料を納付することで将来の年金額を増やすこ

とができる「後納制度」が開始されます(3年間限りの特例)。な

お、老齢基礎年金を受給している方等は、後納制度の利用はで

後納制度を利用するには、申込みが必要です。詳しくは、下

日本年金機構敦賀年金事務所 ☎ 23-9902

※お問い合わせ先 国民年金保険料専用ダイヤル ☎ 0570-011-050

会

はあとぴあ

午前10時15分

11

時 15

部

時10分~1

11 40 時 50 分

内

容

もちつき、

もち丸め

※定員になり

、次第締め切

9月28日(月)

10

月

16

日(金)

町子育て支援セン ※お問い合わせ先

2 32

92

킂

ス

<u>117</u>

きません。

敦賀交通安全協会

ださい。

申込期間

定

各部 親子30組

部、員

2部どちらかに申し込み

募集や案内等、さまざまな お知らせをお届けします。

町役場各部署直通電話番号

美浜創生 · 人口減少対策室 国体推進室

32 - 6715

課 32-6700

企画政策課 32-6701 課 32-6702

住民環境課 32-6703

祉 課 32-6704

健康づくり課 32-6713 商工観光課 32-6705

農林水産課 32-6706

土木建築課 32-6707

学校教育課 32-6708

生涯学習課(なびあす内)

32-6709 納 室 32-6710

議会事務局 32-6711

上下水道課 32-1341

町各施設電話番号

はあとぴあ 32-3111 なびあす 32-1212

町立図書館(なびあす内)

32-0083

丹生診療所 39-1301

東部診療所 37-2911

総合体育館 32-3200

エコクル美方 45-2300

子育て支援センター 32 - 0192

若狭国吉城歴史資料館 32-0050

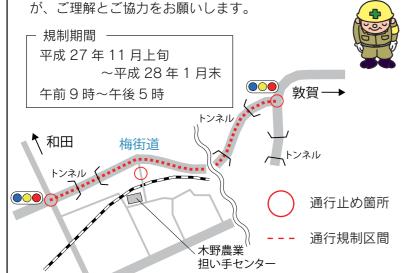
文化財室 32-0027

給食センター32-2111

11 2015.10 月号

福井県が発注する、坂尻トンネルの照明設備及びコンク リート覆工剥落対策工事のため、若狭梅街道坂尻交差点から 和田交差点までの間を、次のとおり通行止めとします。

ドライバーや周辺の皆さんには大変ご迷惑をおかけします



福井県嶺南振興局二州農林部農村整備課 ☎ 0770-22-0108

町土木建築課(担当·瀬戸) ☎ 0770-32-6707

境に優しい電車・ 共交通機関の衰退に繋がります。 マはなるべく相乗り 極的に利用しましょう。 た生活は、 地球温暖化の進行や、 バス・自転車を積 過度な利用 また、クル 環 公

10月はクルマに頼り過ぎない 推進月間です

電車やバ

スの運行

情報

なら

ルマ依存社会です。 全国トップクラスのク クルマに依存し

※お問い クルマ ばす http://koutsu.pref.fukui.jp/ 交通まちづくり課内) 推進県民会議(福井 企画政策課 に頼り過ぎない 合わせ先 でんしゃナビふくい 0 7 7 6 は(担当・ 20 県総合政策部 山本佐知子) 社会づ 029

住民環境課

は控えま

2 32 O

あおなみ保育園





災害危機管理」

※お問い合わせ先

は各園へ申し出てくださ

内

容

防災士として必要な知識に関する

等の12講目の研修

を配置したい

ので、

予定のある方

定

受験料 申込期限 防災士資格認証登録料 員 第受付を終了します) 3, Ó O O O 円 月23日(金)まで 人 (定員になり

保育園新規入園児童の こ入園を希望する児童の平成28年4月に新しく町 し込みを開始します

防災養成研修)が開催されます

受講条件

研修当日に県が示す

ポ

を提

防災士養成研修

●日時

2 日 目 日目 12月13日(日) 午前9時~午後 12月12日(土 -後5時

50

は試目 験を行 0) 午後4時5分から5時50 -前9時 -後5時 50

(敦賀市東洋町1 プラザ萬象 ます ホ

望する保育園に提出

してくださ

※入園には、

入園審査及び施設定員

があるため、

条件によっては、

受

会

場

保育園で受け取れますので、

、入園を希

※ 2 日

○申込方法

申込用紙は9

月 28 日

月)

より各

10 月 1 日

(木) ~

20日 (火

の保育

園に入園を希望する児童

し込み受付を開始します

-成28 年 も 年 1

※平成28年度の途中入園を約束する

け入れできない場合があります。

以降の途中入園の希望者を把握

入園予定者数に伴わせて職員

域の防災リ

における防災活動に意欲のある地

自主防災組織や自治会の構成員等

受講料

無料

し込みが必要です

申

ものではありませんが、

来年5月

防災士

の資格取得予定者及び地域

対

象

敦賀美方消防* 事前(1 2週間前 本部敦賀消防 所まで)に、

【福井県防災士研修に関すること】(お問い合わせ先 町総務課 防災安全室(担当·川 **2** 32 1 670 尻

【普通救命講習に関すること】

成 27 年 11 10

 午
 1
 12
 11
 10

 午
 月
 月
 月
 月

 戶
 日
 日
 日
 日

出すること

ること る「普通救命講習」

\Box 普通救命講習 時

等を受講

地域の防災活動に積極的に参加す 研修日の前後に各消防署が 実施す

修

みはま土曜歴史講座 を開催します.

敦賀美方消防組合消防本部

22 0 7

45

10月24日(土) 午後1時30分~3時

生涯学習センターなびあす 小林裕季 さん(滋賀県文化財保護協会 技師)

みはまとわかさの山寺Ⅱ

若狭の古代から中世にかけての山寺について 定員 50人



↑「みはまとわかさの山寺Ⅰ」講座

※事前に町文化財室まで申し込みをお願いします。(会場に余裕がある場合は、当日の受付も可能です

受講料

無料

※お問い合わせ先 町文化財室(担当・松葉) ☎32-0027

平成 27 年度美浜町歴史フォーラム

国道27号

~遠敷郡の古代寺院、

そして興道寺廃寺~

福井ライフ・アカデミ

共催講座



↑昨年の歴史フォーラム

若き研究者たちが若狭の古代寺院 について語ります。

再論、若狭の古代寺院

この壮大なテーマにどこまで迫れ るか、ご期待ください。

日時

※お問い合わせ先

10月25日(日) 午前10時30分~午後5時

生涯学習センターなびあす

定員

100人

無料

参加費

(当日先着順)

※事前の申し込みは必要ありません。

※興味のある講演のみの聴講も可能です。

内容

● 趣旨説明「若狭の古代寺院と興道寺廃寺」

● フォーラム1 「古代の地方寺院と社会集団」 竹内 亮 氏(日本学術振興会 特別研究員)

●フォーラム2 「瓦からみた北陸道の国分寺」 梶原義実 氏 (名古屋大学大学院文学研究科 准教授)

フォーラム3 「古代寺院の立地と景観」 門井直哉 氏 (福井大学教育地域科学部 准教授)

●フォーラム4 「寺家遺跡と柳田シャコデ廃寺跡」 中野知幸 氏(羽咋市教育委員会文化財室 学芸員)

座談 「再論、若狭の古代寺院」

※お問い合わせ先 町文化財室(担当・松葉) ☎32-0027

みはまナビフェス 2015

今年のみはまナビフェス 2015 は、「つなぐ~人とひと 人とまち そして未来へ~」をテー マに開催します。町の農林水産団体、商工観光団体、文化活動団体及び保健福祉団体が思いを 一つにしさまざまな催しを企画しています。是非お越しください。

文化部門



10月31日(土)~ 11月3日(火·祝) 場所

なびあす

■ 10月31日(土)

みはまナビフェス音楽祭

開演 午後6時30分 開場 午後6時

※美方高校合唱部·吹奏楽 部、ポルタ De' ファツィオ リ受講者による演奏

芸能の祭典

(~11月1日)

· / \\ ++-

(~11月1日)

・文化サークル等の作品展示 (~11月3日)

■ 11月1日(日)

無楽

開演 午後1時 開場 午後 0 時 30 分

※天理高校(奈良県)求道 部雅楽班出演

映画「サクラサクート映

開演 午後6時30分 開場 午後6時

※鑑賞料500円 が必要です。



■ 11月3日(月)

読書感想文コンクール表彰式、 優秀作品朗読

中村 航 さんトークショー

「デビクロくんの恋と魔法」「100回泣くこ と」等、数多くの話題作を執筆された人気 作家・中村航さんによるトークショー。



日時 11月3日(火・祝) 午前 10 時 30 分 会場 なびあすホール 定員 400人 ※トークショー終了後、 書籍販売とサイン会があ

產業部門

期間

開催 11月7日(+)

 $\sim 8 \, \text{G} \, (\, \text{G} \,)$

場所 町役場特設会場

農林水産物品評会表彰式

・特産品等があたる大抽選会

・花の寄せ植え教室

・バザー 等

保健福祉部門

期間

開催 11月10日(火) ~15 ⊟(⊟)

はあとぴあ

※お問い合わせ先 ・文化部門

なびあす(担当・山本) ☎32-1212 町農林水産課(担当・鳥羽) 🏠 32-6706

·產業部門

·保健福祉部門 社会福祉協議会 🕿 32-1164

消防団員用耐切創性手袋を整備しました。



美浜消防団では、平成27年度コミュニティ助成事業により、耐 切創性手袋(225双)を整備しました。火災等の災害や、各種訓練等 の消防団活動で活用していきます。

※この事業は、財団法人自治総合センターが宝くじの収益の一部を 財源として、宝くじの普及広報事業を目的として各種のコミュニ ティ活動を対象に助成するものです。

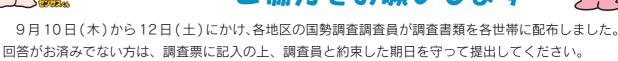


↑整備した耐切創性手袋

※お問い合わせ先 敦賀美方消防組合消防本部 総務課 ☎23 - 9983

国勢調査の回答に

ご協力をお願いします



●お手元に調査書類は imanている iman 届いていますか?



●調査票に記入してください。:

※インターネットで回答した方は、すでに調査が完了しています。ご協力ありがとうございました。

※調査票は黒えんぴつを 使って、記入漏れの無いよ う正しく記入してください。

の期間に調査員が再訪問し ますので、調査票をご提出 ください。

●10月1日(木)~7日(水)

●町企画政策課まで ご連絡ください。

【町へのお問い合わせ先】

町企画政策課(担当・山本佐知子)

2 32-6701

調査に関するお問い合わせ先

【国勢調査コールセンター】 0570-07-2015

届いていない

·受付時間 午前8時~午後9時

(土日祝日もご利用できます)

・設置期間 平成 27年 10月 31日(土)まで

- 町内で親族と近居・多世帯同居する人を応援します!-

町では、子育てや介護等、多世帯で助け合いながら暮らせるまちづくりを推進するため、 親族との「近居」や「多世帯同居」にかかる新築やリフォーム等費用の一部を補助します。

申込期間 10月1日(木)~10月30日(金)

※申込者多数の場合は、抽選となります。

申請方法 交付申請書に必要書類を添付の上、町土木建築課へ提出してください。

申請書は、町ホームページからダウンロードするか、町土木建築課窓口に設置のものをお使いください。

申請条件・工事は、交付決定通知後に着工し、平成28年3月4日(金)までに完成すること。

・町税等に滞納が無いこと。

①親族との近居を目的とする

一戸建て住宅の新築・購入費補助 ● 募集件数 ● 補助額

住宅の新築又は購入に要する費用の 2分の1以内(上限50万円)

3件

新たに直系親族と近居する人。(直系卑属の単独世帯は除く)

●対象となる住宅

①敷地面積が200 ㎡以上であること。

②新築の場合、福井県内に主たる営業所を有する建設業 者又は個人の業者が施工すること。

②親族との多世帯同居を目的とする

一戸建て住宅のリフォーム改修費補助

● 補助額

● 募集件数 対象工事に要する費用の

2分の1以内(上限80万円)

①町内にある、自ら居住するための住宅を改修する人。 ②新たに多世帯同居をし、世帯数が1以上増える人。

対象となる改修丁事

① 「既存住宅の間取りの変更及び増築を伴う間取りの変更 | 「 バリアフリー改修」「設備の改修」のいずれかの工事。

②美浜町内に主たる営業所を有する建設業者又は個人の業者 が施工する工事。

※お問い合わせ先 町土木建築課(担当・増田) ☎32-6707